近畿自然歩道 32 大雲取越（おおぐもとりご）えのみち

交通情報

▼起点：小口バス停
（新宮市熊野川町上長井）
・運行頻度：1日10本以下
・熊野交通㈱
TEL：0735-22-5101

▼終点：那智山バス停
（那智勝浦町那智山）
・運行頻度：1日10～20本
・熊野交通㈱
TEL：0735-22-5101

1 小口高倉神社（こぐちたかくらじんじゃ）

小雲取越と大雲取越との境を小口という。周辺3ヶ村の産土神で、上流の渡月橋の辺りに鎮座していたが、洪水で流されてこの地に流れ着いたと伝わる。

2 円座石（わろうだいし）

石に刻まれた梵字は阿弥陀仏（本宮）、薬師仏（新宮）、観音仏（那智）を表し、熊野三山の本尊を表現したものといわれている。

3 楠ノ久保旅籠跡（くすのくぼはたごあと）

江戸時代には周辺に十数軒の旅籠があり、熊野詣の旅人達で賑わったという。ここでは大正時代まで旅籠が営まれていた。

4 越前峠（えちぜんとうげ）

中辺路の中で最も標高が高い場所で、大雲取、小雲取における最大の難所であった。かつては茶屋が置かれていたというが、現在はその跡地も定かではない。

5 大雲取地蔵尊（おおくもとりじぞうそん）

江戸時代に堺の魚商人が寄贈したといわれる石地蔵33体が祀られている。かつてはここにも茶屋が置かれており、昭和の初めまで実際に営業していた。

6 舟見茶屋跡（ふなみちゃやあと）

舟見という地名は、ここから那智の大海原に浮かぶ帆掛舟が見えたことから名付けられた。大雲取越えの険しい道では憩いの場所であったと思われる。

7 那智高原（なちこうげん）

那智山の北西にある高原。ここには那智大滝が眼下に望める展望台がある。また、遊具広場には那智大滝と同じ長さの滑り台もある。

8 和歌山県朝日夕陽百選

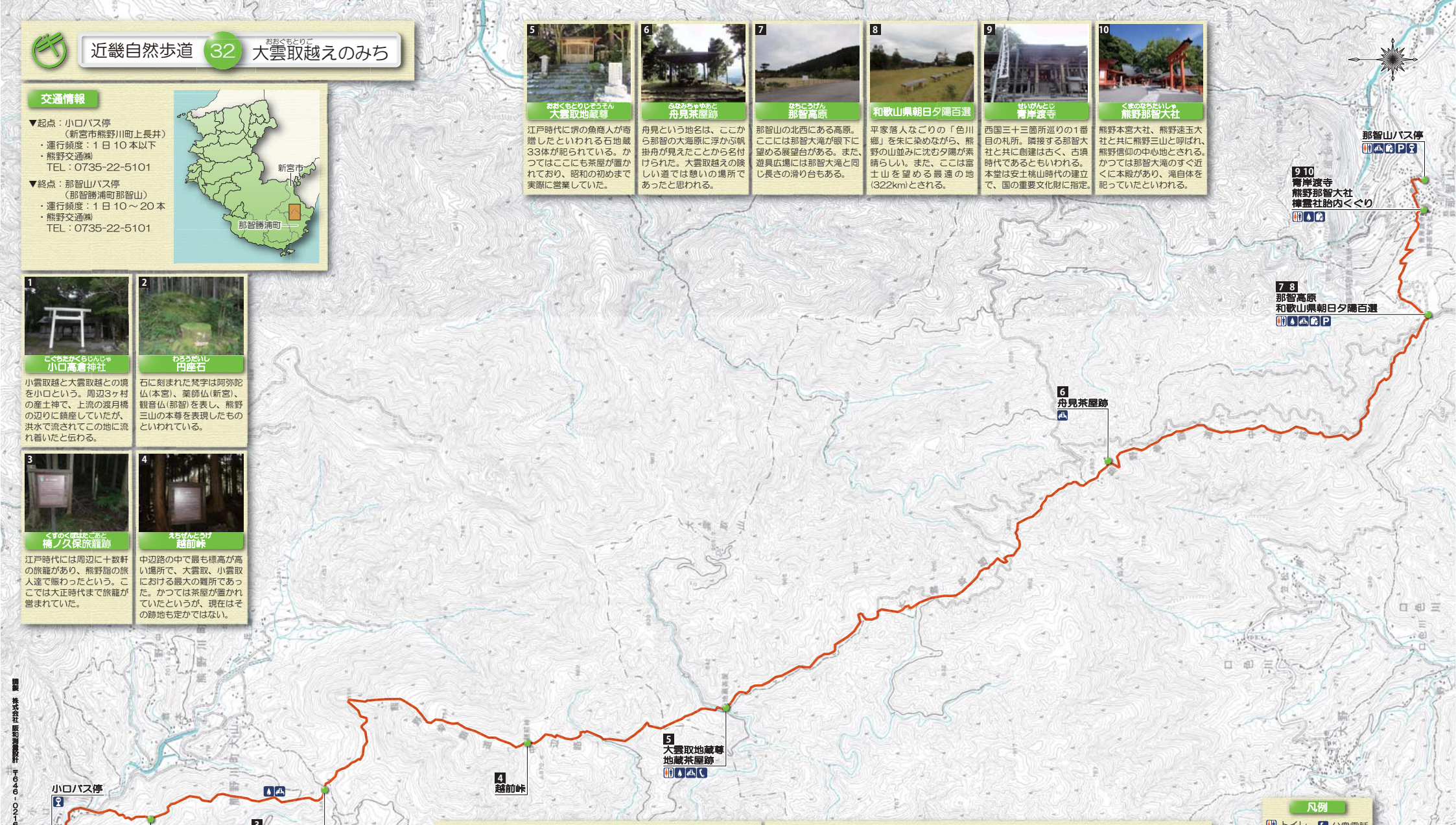
平家落人なごりの「色川郷」を朱に染めながら、熊野の山並みに沈む夕陽が素晴らしい。また、ここは富士山を望める最遠の地（322km）とされる。

9 青岸渡寺（せいがんとじ）

西国三十三箇所巡りの1番目の札所。隣接する那智大社と共に創建は古く、古墳時代であるともいわれる。本堂は安土桃山時代の建立で、国の重要文化財に指定。

10 熊野那智大社（くまのなちたいしゃ）

熊野本宮大社、熊野速玉大社と共に熊野三山と呼ばれ、熊野信仰の中心地とされる。かつては那智大滝のすぐ近くに本殿があり、滝自体を祀っていたといわれる。



注意事項

▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。

▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。

▼ゴミ・あき缶・ビン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。

▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。

▼山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。

▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。

▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。

行程図

凡例

- トイレ
- 公衆電話
- 水場
- 駐車場
- 休憩所
- バス停
- 売店
- 駅

0 1km

和歌山県
Wakayama Prefecture
環境生活総務課 自然環境室
〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1
TEL：073-441-2779
FAX：073-433-3590
メール：e0320004@pref.wakayama.lg.jp

このWebサイトで掲載している地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである（承認番号 平22近複、第68号）。

印刷 株式会社 阪和測量設計 〒646-0216 田辺市上三栖1499-61 ☎0739-81-1955